

2022年2月9日

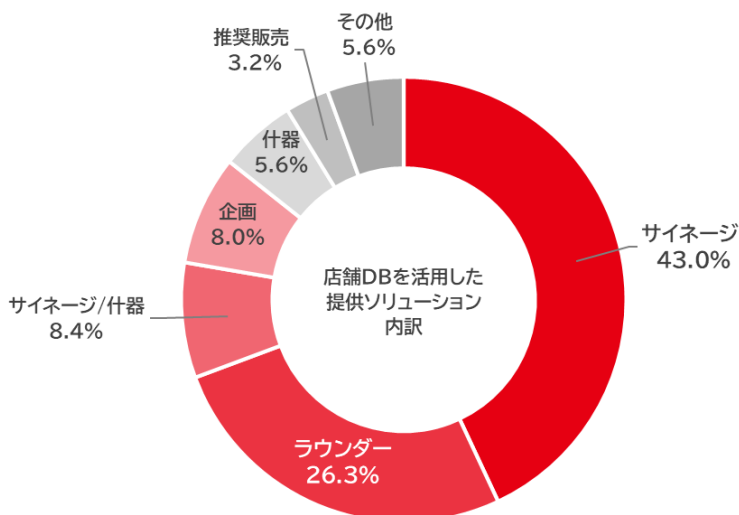
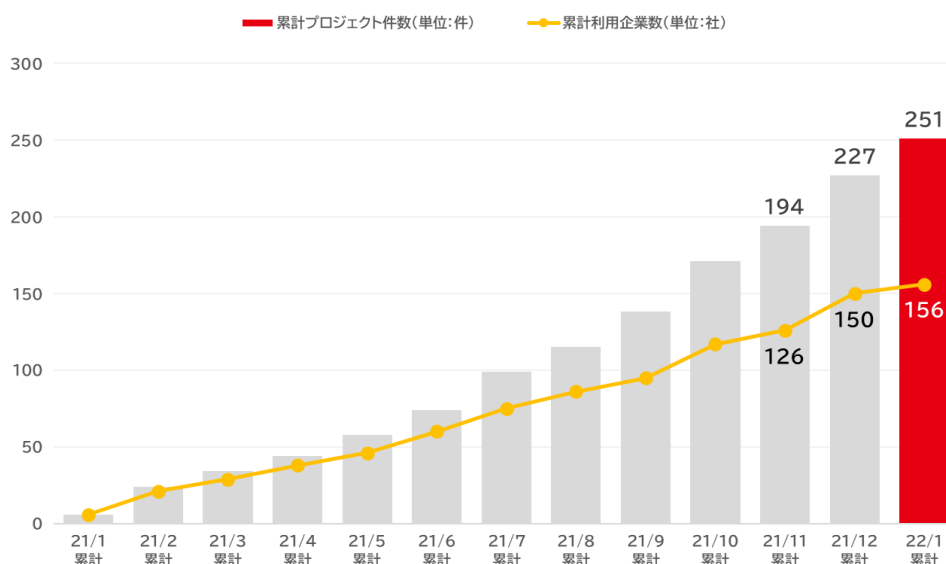
インパクトホールディングス株式会社(東証マザーズ・証券コード:6067)

## 2022年1月度 累計店舗DB提供数およびフィールド業務稼働件数のお知らせ

インパクトホールディングス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:福井 康夫、東証マザーズ・証券コード:6067、以下「当社」)は、ラウンダー、推奨販売、デジタルサイネージ、覆面調査等のフィールドマーケティングサービスを全国で展開しており、累計 860 万件超の業務実績、店舗DBを蓄積しています。2022年1月度の累計フィールド業務稼働件数をお知らせいたします。

## ◆ 累計店舗DB提供数 概況

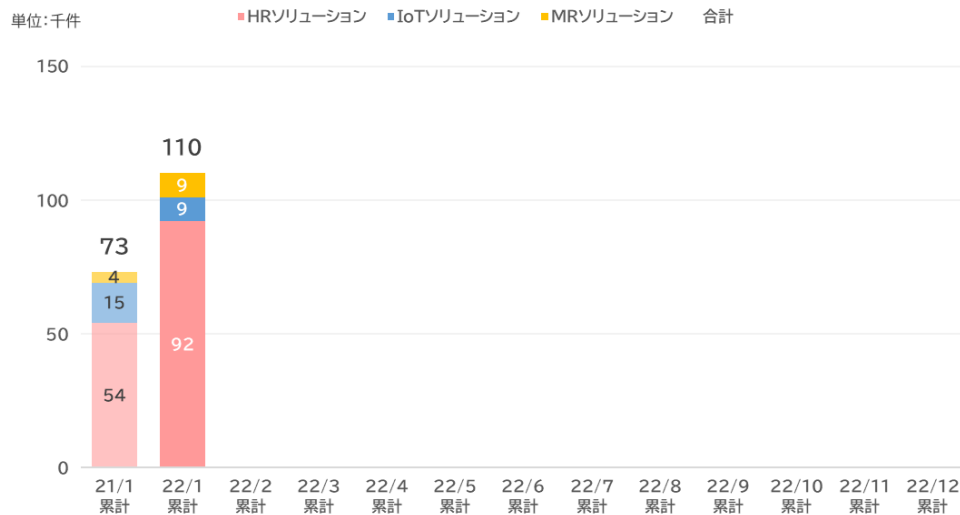
店舗DBの累計利用企業数は食品・飲料メーカーを中心に156社、プロジェクト件数は251件となった。また、店舗DBを活用した提供ソリューションの内訳としては、サイネージが43.0%、ラウンダーが26.3%、サイネージ/什器が8.4%の順に多い結果となった。



## ◆ 店舗 DB 活用事例

既存クライアントである流通小売チェーン様から、売上が下がっている店舗に対してどのような販促施策を実施すべきかという要望に対し、近隣の競合チェーンや他業種チェーン等の店舗 DB に蓄積している販促稼働データや周辺の商圈データ等を基に AI 分析実施し、店舗のポテンシャルを可視化。ポテンシャルが高い店舗にも関わらず売上が上がってない店舗は要改善店舗とし、来店誘引施策を検討。ポテンシャルの低い店舗に対しては、必要最低限の販促施策にとどめ、販促コストの最適化・効率化を図った。

## ◆ 累計フィールド業務稼働件数 概況



- HR ソリューション事業は、昨年から引き続きコロナ対策「第三者認証制度」の審査代行、売場棚替えやサイネージ設置等のスポットラウンドが伸長し、ラウンダーサービス単体では前年比+139.3%。
- IoT ソリューション事業は、出荷台数はやや減少したものの、広告メディアサイネージや飲食チェーン向けのテーブルトップオーダー端末、大型サイネージ等の高単価商材の出荷が重なった。
- MR ソリューション事業は、大型飲食チェーンでの覆面調査、携帯ショップのコンプライアンス調査、非接触型サンプリング調査「買いタメ」のスポット調査等が重なり、前年比+105.7%。

### 【注】

- ※ 案件により売上計上月が翌月、翌々月等になる場合もあり、稼働件数と売上計上月は連動していません。
- ※ 以前に比べ、提供ソリューションのラインナップが増加しており、ソリューションごとで 1 件あたりの単価が大きく変動いたします。そのため、稼働件数が多い場合でも売上への寄与度が小さかったり、稼働件数が少ない場合でも売上への寄与度が大きかったりする等、稼働件数と売上は連動していません。
- ※ あくまで参考データとしてご参照ください。

## ◆ 店舗 DB とは

店舗 DB とは、当社グループが創業期よりラウンダー、推奨販売、覆面調査等のフィールドマーケティング業務レポート、デジタルサイネージの出荷台数、オンラインサイネージから取得した棚前消費者行動等から収集した累計 700 万件超のデータに加え、地域経済分析システム「RESAS(リーサス)」や政府統計ポータルサイト「e-Stat(イースタット)」等のオープンデータ、企業の店舗情報を集約した独自のデータベースです。AI 分析により無数の切り口を自動作成し、機械学習で切り口の優先順位付けを行い、効率良く施策の企画・立案、効率的かつ効果的な店頭販促企画を実施するための店舗を抽出することが可能です。

◆ 当社グループ事業セグメントについて

---

当社グループは、「売場を元気に、日本を元気に、そして世界を元気に！」という事業コンセプトのもと、HRソリューション事業、IoTソリューション事業、MRソリューション事業の3セグメント構成で店頭販促支援事業を推進しております。

【HRソリューション事業】 ラウンダー、推奨販売、販売員派遣、販促ツール出荷個口数、リゾートバイト派遣、人材派遣等の稼働人数

【IoTソリューション事業】 デジタルサイネージの出荷台数

【MRソリューション事業】 覆面調査を中心とした実地調査の調査実施件数

【本件に関するお問い合わせ】

インパクトホールディングス株式会社 広報担当

TEL:03-5464-8321 / E-mail:pr@impact-h.co.jp